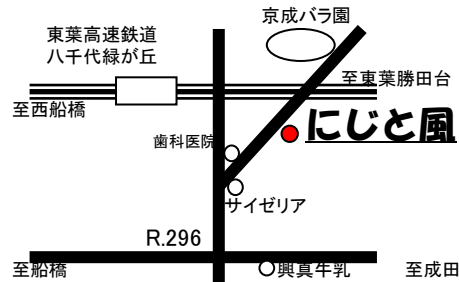


にじと風だより

発行 特定非営利活動法人にじと風福祉会
〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田453-126
TEL 047-480-0801 FAX 047-480-0807
発行人 吉野眞里子/yosino@asahi-net.email.ne.jp



秋らしくなりました

十三夜の月が夏とは違う夜の空に清々とかがやき、秋も深まって参りました。秋になっての真夏の暑さの日があり庭ではコオロギから鈴虫の鳴き声に変わってたりしています。なんだか変ですが季節は確かに変わることにほっと致します。

本当は総会終了後すぐに発行したかった会報が秋になってしまいました。総会後の決算報告同封いたしました。お目汚しですがご覧くださいませ。

事業によってはとてもとても採算の取れないものもあります。経営者としては落第点をつけられても仕方ないです。心の中で言い訳をさせて頂ければ、私達は小さいなりにこんなことがしたいということがあります。このことを進めていくのに職員も保護者も力を合わせて日々活動しております。

こどもたちは日々楽しく充実して暮らしたい、大人になったらこんなこともしたいあんなこともしたいと夢を語り悩みぶつかりあいながら色々な事を自分の力で獲得していきます。職員たちはこの子のためにああもしたいこうしたいと奮闘しています。

保護者の方もこの子にこんな風になってほしい私もこういう生活がしたいと夢を語り合います。

この夢をかなえるためにわいわいぶつぶつ言いながらみんなで力を合わせて日々を過ごしています。

日々は、子ども達とどちらが楽しんでいるのかと思う位楽しんでいますし貧乏には慣れてますし...。春から夏に掛けてはこどもたちやご家族の方が楽しみにしている行事が沢山あります。

どの行事も殆ど時期や場所を変えないで行っています。この時期になるとこんなことがあるとわかると思う存分楽しむ基礎となります。

行事の多くは行政が主催し色々なこども達が参加する事が多いです。参加費が廉価なのと普段はなかなか一緒に遊ぶ事の少ない人たちと遊べるのがとても楽しみです。

普段はカリキュラムのない遊びを個別でしています。今まではおしりについて坐れなかった子が両方のおしりを床に付けて座り両方の手でおもちゃを操作し遊んでいるのを見ると職員たちが目を見合わせてうれしくて泣きそうになっています。3年かけて...。そうするとまた次の欲が出てきて...

夏の特別活動について

夏休みは特別な期間です。普段は出来ない長い時間子ども達と一緒に過ごせませす。普段は4つある事業所が独立して活動することが多いですが色々な活動を通して交流が出来ます。普段はお子様だけと関わる事が多いのですか夏休みお母様が毎日給食を作りに来てくださりお目にかかれず。普段のお子様の様子を見て頂いたりお母様通しおりをなさっています。職員も一杯おしゃべりができまそれに何より1泊旅行に行ったり、大きなプールで遊んだり、カフェを開店したり、お母様や子ども達と施設学にいたり普段は出来ない事が出来ます。親子職員一緒に研修会をして学び合いもできました。今年の1泊行は少し贅沢して鬼怒川温泉のホテル三日月に泊り江村で遊びました。台風と並走して北上しました。銭湯ごっこはにじと風がさくらの湯やあかねの湯にご待を受けてお風呂を頂きに上がります。湯上りには普は飲まない美味しい甘い飲み物をご馳走になりました。番台や三助さんまで各々の事業所の利用者がしてくれました。普段とは違う緊張した誇らしげな顔がとてもう。しかったです。長い夏休みには嬉しいことばかりでな事もありますが、健気にしなやかに生きて行こうとす姿に私達はとてもとてもみなならいたくなります。この子のそして子ども達の最善の利益のために！

「ひよこ宣言」

施設「にじと風」の開所式の際に、「ひよこ宣言」をつくった当事者たち、保護者、関係者の思いを生命ある私たちが継続していきたいと思います。

(1999.7.18)

1. ずうっとこの町で暮りたい
友だちと一緒にいろんなことをしたい
自分のことは自分で決めたい、自分でやりたい
でも、どうしても出来ないことは手伝って下さい
2. 今日ここに私たちの新しい場所が出来ました
私たちは、ここに閉じこもることなく
ここを基地として
新しい一歩を踏み出すことを宣言します

